

## 変更契約の調書

工 事 名 生活排水路整備工事（その1）

当初

施 工 場 所 南陽市 三間通 地内外

請 負 業 社 名 株式会社石川工務店

工 事 種 別 土木一式

工 事 概 要 ◎排水路整備工事 総施工延長  $\Sigma L=130.5m$   
桜木町一 施行延長：L=26.5m 水路工：鉄コン水路30×30  
長岡 施行延長：L=54.0m 側溝工：道路用30×30  
緑町 施行延長：L=50.0m 側溝清掃工：50m

契 約 金 額 4,770,700 円（消費税及び地方消費税を含む。）

工 期 着工 令和5年10月23日  
完成 令和6年3月22日

## 第1回変更

変 更 年 月 日 令和6年1月31日

変 更 金 額（変 更 後） 5,309,700円（消費税及び地方消費税を含む。）

工 期（履 行 期 間） 完成 令和6年3月22日

## 変 更 理 由

## 【桜木町一】

## 1.法面保護工について

現地再調査の結果、官民堺の幅が狭いため、側溝との間の法面に関して擦り付け幅が狭くなり法の傾斜がきつくなることから、現設計の土砂での復旧では降雨時に斜面が急なため崩れる恐れがあることが判明したため、法面保護をコンクリートの復旧へ変更し、実施したい。

	当初	変更
法面整形	A=- $m^2$	A=10 $m^2$ (10 $m^2$ 増)
法面保護コンクリート	V=- $m^3$	V=1 $m^3$ (1 $m^3$ 増)
溶接金網	A=- $m^2$	A=16 $m^2$ (16 $m^2$ 増)

## 【長岡】

## 1.側溝工について

現地再調査の結果、水路設置区間で現設計の側溝規格では必要な勾配が取れなかったため、側溝規格を次のように変更し、実施したい。

	当初	変更
道路用鉄筋コンクリート水路 300×300	L=54m	L=0m(54m減)
道路用鉄筋コンクリート水路 300×400	L=-m	L=28m(28m増)
勾配調整側溝 300×400	L=-m	L=26m(26m増)
調整コンクリート	V=- $m^3$	V=0.6 $m^3$ (0.6 $m^3$ 増)

## 2.水替工について

当初設計では水替を計上していなかったが、床掘時に湧水があり現状水替なしでは施工困難なことから水替工を追加増工し、実施したい。

	当初	変更
水替工	N=-日	N=7日(7日増)

## 【緑町】

## 1.土工について

現地再調査の結果、側溝内に土砂が堆積しており、機能回復を図るため、側溝清掃を増工し、実施したい。

	当初	変更
側溝清掃	L=-m	L=37m(37m増)

## 2.法面保護について

現地再調査の結果、当初設計では砕石で防草対策を施す計画でしたが、現場の雑草の根が太く、砕石で埋め戻しても防草の効果が期待できないことから、長期にわたり防草効果が期待できる防草シートへ変更し、実施したい。

	当初	変更
防草シート設置	A=- $m^2$	A=95 $m^2$ (95 $m^2$ 増)

3.その他、現地に適合するよう軽微な変更を実施したい。